

会議名	慶生会住道ヘルパーステーション		管理者	奥野 尊宣
	定期巡回随時対応型訪問介護看護		書記	片岡 義晴
	第1回 介護・医療連携推進会議			
開催日時	2019年9月17日(火) 13時00分 ~ 14時00分			
開催場所	大東市民会館401号室			
出席者	利用者家族	1名		
	大今里ふれあいクリニック	2名		
	慶生会訪問看護ステーション	2名		
	慶生会安心いきいきネット相談支援センター	1名		
	居宅支援事業所みどりの里 (CP)	1名		
	快生会ケアプランセンター野崎 (CP)	1名		
	ケアパートナー大東 (通所介護)	1名		
	慶生会ゆったりデイサービス野崎 (通所介護)	1名		
	慶生会ライフサポート四條畷 (福祉用具)	1名		
	慶生会諸福ヘルパーステーション	1名		
	慶生会住道ヘルパーステーション (定期巡回)	2名		
		計：14名		
検討議題	1、開会のあいさつ及びサービス説明	3、事例紹介・意見交換		
	2、サービス実施状況・活動報告	4、今後の会議開催予定		
<p>2、サービス実施状況・活動報告</p> <p>〈令和元年9月1日現在〉</p> <p>① 利用者数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計13名 (要介護1：5名、要介護2：3名、要介護3：4名、要介護4：1名、要介護5：1名)</li> </ul> <p>② 男女比</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男性 2名、女性 11名</li> </ul> <p>③ 年齢層</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・60～69歳：1名、70～79歳：0名、80～89歳：11名、90歳以上：1名</li> </ul> <p>④ 平均介護度：2.4</p> <p>&lt;活動内容報告&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大東市内近隣他市の居宅介護支援事業所への広報・周知活動</li> <li>・介護従事者・医療従事者向けのセミナー実施</li> </ul>				

### 3、事例紹介

利用者様 T様 男性 86歳 要介護2

現疾患・既往歴等 : 2型糖尿病、高血圧症、認知機能障害

家族状況 : 自宅で独居。同市内に家族あり、管理等のサポート。

支援内容 : 服薬介助確認・インシュリン自己注射見守り、清掃（ゴミ出し）、安否確認

利用開始経緯 : 毎日のインシュリン自己注射（接種）、確実な服薬が目的。また、自宅環境の整備（掃除・洗濯・ゴミ出しができていない、冷蔵庫の整理ができていない）等の課題があり、自宅での一人暮らしを継続することが困難になりつつあり、定期巡回の利用開始に至る。

支援経過 : 毎日のインシュリン自己注射は見守りのもと実施できている。掃除等も行き届き、またゴミ出しが確実に実施できることによって、不衛生な状況に至らずにいる。洗濯等は溜まってきていた際にお声かけさせていただくことによって、ご自身でできる部分も継続できている。

今後の課題 : 認知症の進行に伴い、外出から戻ってこれない状況がある。現在は大事至っていないが、症状等の進行等を把握しながら、サービス内容や訪問頻度の検討が必要になってくると考えている。

#### <意見交換>

- ①事例の対象の方は、訪問看護もサービス提供している方であるので、定期巡回の利用によって、医療面ニーズの充足とサポート体制がより強固にんまったことを実感している。
- ②オンコールに対しての随時対応する割合として多いサービスは、買い物や安否確認。
- ③利用者家族様より、相談窓口（CM、定期巡回、事業所）のいずれにどの情報を伝えたらよいか迷うことがあるとの質問に対して、どの事業所（者）へ相談していただいても、CMへ情報が集約され、各関係者へ情報伝達するようになっていると回答。
- ④訪問頻度等の頻度に関しては、利用者の置かれる状況に応じて、サービス内容と訪問頻度を決定するプロセスであるため、要介護等に影響しない。

### 4、次回開催予定

2020年3月予定